

平成 22 年 度

主 要 な 施 策 の 成 果 説 明 書

中 央 区

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定  
に基づき、平成22年度における主要な施策の成果説明書を  
提出します。

平成23年9月15日

中央区長 矢田 美英

## 主要な施策の成果について

本区の人口は平成10年以降増加を続けており、平成22年の1年間だけでも3,059人の増となりました。特に30歳代から40歳代を中心とする人口構成に変化したことなどにより、出生数も年間1,400人を超え、まさに子どもたちの元気な声があふれています。

一方、こうした人口増を背景とした子育て環境の充実をはじめとする福祉施策の一層の強化、本区のにぎわいを支える区内中小企業への支援などの景気対策、待ったなしの地球温暖化対策など、様々な行政課題に対応していかなければなりません。とりわけ、先の東日本大震災を教訓とした帰宅困難者対策など、都心である本区の特性に対応した防災対策の見直しが急務となっています。

本区の財政状況は概ね健全性を維持していますが、長引く景気の低迷による所得の落ち込みなどにより、歳入の根幹である特別区民税収入も先行きは不透明であり、決して楽観できない状況にあります。

このような状況の中、本区では、行政評価に取り組むとともに、フレーム予算方式を徹底するなど、各部の主体性を高めながら効率的・効果的な行財政運営に努めています。

平成22年度においては、「基本計画2008」に掲げた「10年後の中央区」の実現に向け、「“元気・安心・快適”都心 中央区」を推進するため、各種施策の充実・強化を図りました。

特に、保育所待機児童の解消をはじめとする子育て支援策のさらなる充実と強化、“70歳就労社会”実現に向けた高齢者施策の一層の展開、中小企業に対する商工業融資の充実や区内の消費喚起など経済対策の総合的な推進、首都直下型地震等に備えた高層住宅防災対策や地域ぐるみの防災活動の充実に重点的に取り組みました。さらに平和を求める世界的な機運の高まりや、地球温暖化対策に関する国際的な議論を踏まえながら、「足もとから行動する」という理念のもと、「平和」と「環境」を区政のあらゆる施策の根幹に据えて積極的に取り組みました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

# 平成22年度 主要な施策一覧

事業	決算額(千円)	頁
<b>1 思いやりのある安心できるまちをめざして</b>		
○ 生涯をいきいきと暮らすために		
* 保健医療		
(1) 出産施設の開設支援	40,143	6
(2) 母子健康診査	144,515	6
(3) 母子保健指導	15,657	6
(4) 予防接種	213,759	7
(5) がん検診	385,092	7
(6) 結核予防	17,655	8
(7) 子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成	26,599	8
(8) 成人歯科健康診査の充実	30,190	8
* 障害者福祉		
(1) 精神障害者グループホーム運営費助成	65	9
(2) 障害者就労支援センター運営支援	21,989	9
(3) 障害者就労支援モザイク平板設置事業	1,541	9
* 高齢者福祉		
(1) さわやか体操リーダーの育成	341	10
(2) 出前「はつらつ」体験講座の実施	112	10
(3) 認知症サポーター養成講座の実施	302	10
(4) 高年齢者合同就職面接会	126	10
(5) 無料職業紹介所「シルバーワーク中央」の運営支援	12,615	11
(6) 高齢者雇用促進支援事業	2,850	11
(7) 高齢者雇用推進事業所の顕彰	224	11
(8) 元気高齢者人材バンク	5,584	12
(9) 敬老買物券等の贈呈	96,687	12
(10) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導	52,410	12
(11) 地域見守り事業支援	819	12
(12) 高齢者あんしんコール事業	9,325	13
(13) 高齢者食事サービス	16,777	13
(14) 高齢者生活援助サービス	12,003	13
(15) 人形町認知症高齢者グループホームの整備	354,624	13
(16) 小規模特別養護老人ホーム等複合施設の整備	3,570	14
(17) 特別養護老人ホーム「マイホーム新川」における経管栄養利用者受入枠の拡大	18,423	14
(18) 介護サービス事業者に対する看護師等雇用費助成	22,779	14
(19) 在宅療養支援	1,566	14
(20) 巡回型ホームヘルプサービス	69,347	15
○ 健やかな子どもを育むために		
* 子育て・青少年健全育成		
(1) 人形町保育園の整備	16,210	16
(2) 堀留町保育園の開設	8,222	16
(3) かしどき西保育園新園舎の取得	1,309,288	16
(4) 勝どき児童館新施設の取得	1,713,015	16
(5) 晴海児童館(仮称)等複合施設の整備	974,391	17
(6) 私立保育所に対する助成	333,865	17
(7) 認証保育所に対する助成	767,055	18
(8) 認定こども園に対する助成	70,911	19
(9) 認可外保育施設保育料の助成	68,884	19
(10) 一時預かり保育の充実	65,890	19
(11) 病児・病後児保育の充実	45,075	20
(12) 子ども医療費助成	444,409	20
(13) 出産支援事業	97,121	20
(14) 子育て支援ガイドブックの発行	2,297	21
(15) 就学援助	85,787	21
(16) 学校給食における食材料費補助	13,627	21
(17) 子どもの居場所づくりの推進	146,979	21
(18) 母子家庭自立支援の推進（「ひとり親パソコン教室の開催」含む）	3,856	22
○ 思いやりとふれあいのあるまちのために		
* 福祉のまちづくり		
(1) 公衆便所への「だれでもトイレ」の整備およびベビーシート・チェアの設置	12,670	23
* 男女共同参画		
(1) 「ブーケ21」女性相談の充実	1,212	23
(2) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定	2,998	23

平成22年度 主要な施策一覧

事業	決算額(千円)	頁
<b>2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして</b>		
○ 住みやすい環境づくり		
* 住宅・住環境		
(1) 「すまいるコミュニティ」構築に対する補助	23,118	24
* 公園・緑地・水辺		
(1) 民間施設の緑化推進	13,190	24
(2) 公共施設の緑化推進	45,280	24
(3) 校庭・園庭の芝生化	14,058	25
(4) 水の都プロジェクトの推進	141,068	25
(5) 公園・児童遊園の改修	74,445	26
* 消費生活		
(1) 消費者相談	14,733	27
○ 地球にやさしい環境づくり		
* 環境保全		
(1) 中央区エコタウン構想の策定	14,931	27
(2) 中央区の森環境ふれあい村構想の策定	3,140	28
(3) 低公害車の普及・啓発	1,735	28
(4) ほっとプラザはるみの屋上庭園を利用したリサイクル教室の実施	305	28
(5) 宇佐美学園への太陽光発電システムの整備	20,450	28
(6) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器設置費助成	18,774	29
(7) 公衆浴場のクリーンエネルギー化補助	2,992	29
(8) 地域クリーンパトロールの展開	28,815	29
* 循環型社会		
(1) 清掃事業の普及・啓発	8,650	30
(2) リサイクル事業の普及・啓発	2,318	30
(3) 土のリサイクルのモデル実施	137	31
(4) 資源再利用（リサイクル）の推進	433,461	31
(5) プラスチック製容器包装の集積所回収	77,452	32
(6) 資源持ち去り防止対策	9,176	32
○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり		
* 道路・交通		
(1) 駐輪場の整備	4,075	32
(2) 街路環境(シンボルロード)の整備	121,619	33
(3) 人にやさしい歩行環境の整備	88,799	33
(4) 環境にやさしい道路の整備	108,220	33
(5) にぎわいのある道路の整備	199,705	34
(6) 電線共同溝の整備	202,810	35
(7) 橋りょうの新設・架替	35,512	35
(8) コミュニティバス「江戸バス」の運行	95,374	36
* 防災・危機管理		
(1) 防災拠点運営委員会訓練	10,692	37
(2) 防災拠点運営委員会への支援	11,081	37
(3) 広報掲示板の避難場所標識に外国語表記の追加	670	37
(4) 高層住宅防災対策	7,250	37
(5) 住宅・建築物耐震改修等支援事業	47,087	38
(6) 公衆浴場の耐震化等補助	1,000	38
(7) 橋りょうの健全度調査	14,333	38
(8) 橋りょうの耐震補強整備	49,502	39
(9) 銀座地区における安全対策支援	20,097	39
(10) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対策助成	493	39
(11) 共同住宅等生活安全(防犯)アドバイザーの派遣と防犯設備整備費助成	1,728	40
(12) 安全・安心メールの充実	4,725	40
(13) 全国瞬時警報システムの整備	7,621	40
* 地域整備		
(1) 市街地再開発事業助成	2,869,782	41
(2) 都市再生土地地区画整理事業助成	10,000	41
(3) 日本橋再生推進協議会の運営と名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋川再生に向けたまちづくり調査	7,891	41

平成22年度 主要な施策一覧

事業		決算額(千円)	頁
<b>3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして</b>			
○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり			
* 商店街振興			
(1) 特色ある地域商店街づくり		16,018	42
(2) 商店街の集客力向上支援		2,975	42
(3) 観光商業まつり		31,420	42
(4) 共通買物券の発行		579,984	42
* 産業振興			
(1) 商工業融資		2,552,216	43
(2) 問屋街産業支援施設「YYパーク」の整備および管理運営		108,096	44
(3) 日本橋問屋街活性化事業支援		5,003	44
(4) 若年者合同就職面接会		274	44
(5) 職業相談・就職ミニ面接会		412	45
(6) 産業文化展		38,793	45
* 観光			
(1) 中央区観光検定		8,026	45
(2) アンテナショップスタンプラリー		1,400	46
(3) 東京湾大華火祭		246,169	46
(4) 観光写真コンクール		1,630	46
(5) 船着場の整備		107,415	47
○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり			
* 学校教育			
(1) 学習力サポートテスト		18,060	48
(2) 小学校の学力向上対策		60,128	48
(3) 中学校の学力向上対策		73,739	48
(4) 英語教育の推進		74,034	49
(5) 土曜学校公開		—	49
(6) 健康教育の推進		50,873	49
(7) ICT環境の推進		8,551	50
(8) 学校間ネットワークの整備・運用		195,840	50
(9) 学校図書館システムの整備・運用		24,108	50
(10) 「いじめのない学校づくり」の推進		—	50
(11) 特別支援教育への対応		127,754	51
(12) スクールバスの運行		8,270	52
(13) 小学校・幼稚園の改築		1,242,525	52
○ 文化の香る交流のまちづくり			
* コミュニティ			
(1) 地域の盆おどりに対する助成		13,900	53
(2) 浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営		41,007	53
(3) 人形町区民館の整備		4,020	53
(4) 町会等活性化支援情報誌の発行		1,203	54
(5) 大江戸まつり盆おどり大会		39,918	54
(6) 雪まつり		10,360	54
(7) 青年リーダーの育成		231	55
* 文化振興			
(1) 中央区まるごとミュージアム		32,335	55
(2) 文化振興プロデュースチーム		647	56
(3) 文化事業助成		414	56
(4) 国民読書年および京橋図書館100周年記念事業		812	56
(5) 図書館地域資料のデジタル化		11,507	57
(6) 郷土天文館「タイムドーム明石」収蔵品のデータベース構築		63,918	57
* 国際・地域間交流			
(1) 外国人区民支援施策の推進		1,746	57
* 平和			
(1) 平和モニュメントの設置等		3,544	57
(2) 映像による戦災体験等の証言データ収集		1,538	58
(3) 平和展		2,781	58

## 平成22年度 主要な施策一覧

事業	決算額(千円)	頁
<b>4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進</b>		
○ <b>新たな課題等への対応</b>		
(1) 地上デジタルテレビ放送への移行対策	21,165	59
(2) 「区のおしらせ 中央」の発行回数増	37,480	59
(3) 区議会ホームページの開設	6,229	59
(4) 「労働スクエア東京」跡地の活用検討	16,947	60
(5) 社会貢献活動団体との協働の推進（協働ステーション中央の管理運営）	16,894	60
(6) 結婚活動支援	388	60
(7) 特定不妊治療医療費助成	4,156	60
○ <b>緊急な課題への対応</b>		
(1) 緊急雇用創出事業	34,568	61
① 路上弁当販売監視指導	10,383	61
② 駅周辺等放置自転車の整理	7,149	61
③ 街路樹点検調査	1,859	61
④ 学校図書館データベース化	15,177	61
○ <b>区施設の改修</b>		
(1) 月島区民センター	745,112	62

## 思いやりのある安心できるまちをめざして

### ○ 生涯をいきいきと暮らすために

#### \* 保健医療

#### (1) 出産施設の開設支援 [決算額 40,143千円]

身近な地域でかつ利用しやすい費用で出産できる医療施設を確保するため、平成21年度に引続き財団法人聖路加国際病院に聖路加産科クリニック開設のための経費の一部を助成した。

所在地 中央区明石町1番24号

開設日 平成22年6月15日

ベッド数 19床

#### (2) 母子健康診査 [決算額 144,515千円]

妊婦健康診査における超音波検査の年齢制限を撤廃(平成21年度までは35歳以上が補助対象)して、安全な出産を支援した。また、母子健康手帳をより見やすくするため、カラー一版とした。

超音波検査件数 1,186件

母子健康手帳交付件数 1,683件

#### (3) 母子保健指導 [決算額 15,657千円]

##### ア 両親学級

より多くの夫婦が参加できるように、開催回数を年11回から13回に増やして、夫婦が協力して出産や子育てをしていけるよう支援した。

参加者数 324組 648人

開催日 土曜日(1日制)

##### イ 新生児等訪問指導

育児不安の解消等を図るため、未訪問家庭への積極的な働きかけを繰り返し行うことにより保健師・助産師による訪問数を増やした。

訪問件数 1,128件(平成21年度 訪問件数 738件)

(4) 予防接種

[決算額 213,759千円]

ア 新型インフルエンザ (A/H1N1) ワクチン

新型インフルエンザ予防接種について1歳から中学3年生までの区民に対して接種料の一部、生活保護世帯に対して全額助成を行った。

助成者数 延15,148人

イ 季節性インフルエンザワクチン

65歳以上の区民に対して接種料の一部、75歳以上の区民に対して全額助成を行った。

助成者数 10,121人

ウ 肺炎球菌ワクチン

65歳以上の区民を対象に肺炎を予防するため、肺炎球菌ワクチン接種料の一部助成を行った。(接種1回につき4,000円)

助成者数 1,661人

エ Hib ワクチン

乳幼児の髄膜炎等を予防するため「ヘモフィルスインフルエンザ菌 b 型(Hib) ワクチン」の接種料の一部助成を行った。(接種1回につき4,000円)

助成者数 延2,815人

オ 日本脳炎ワクチン

国の方針により、平成17年5月から中止していた積極的勧奨のうち、3歳児に対する第1期初回接種(2回分)の積極的勧奨を平成22年度から再開した。

また、予防接種実施規則の改正で平成22年8月27日以降は、第1期末接種者が第2期接種年齢時に接種が可能となったため、希望者に対して接種を行った。

接種者数 第1期 延3,979人 第2期 45人

(5) がん検診

[決算額 385,092千円]

がんの早期発見・早期治療を目的として、各種がん検診を実施した。子宮がん・乳がん検診については、受診率を向上させるために受診券の個別発送対象年齢を拡大した。

また、国の「女性特有のがん検診事業」も同時に実施した。

個別発送対象 子宮がん検診 20歳～40歳の偶数歳、50歳、60歳、70歳

→ 20歳～60歳の偶数歳、70歳

乳がん検診 電話による申込み → 40歳～60歳の偶数歳、70歳

受診者数	胃がん検診	10,060人
	子宮がん検診	6,381人（区 5,003人 国 1,378人）
	乳がん検診	3,171人（区 2,227人 国 944人）
	肺疾患（肺がん等）検診	15,096人
	大腸がん検診	13,783人
	前立腺がん検診	4,118人

(6) 結核予防 [決算額 17,655千円]

BCG予防接種や接触者健診を実施し、結核患者の早期発見と感染拡大防止を図った。  
また、医療費公費負担のほか、服薬支援として、電話やはがき等によりDOTS（直接服薬確認療法）を実施した。

BCG予防接種者数	1,331人
接触者健診受診者数	延596人
DOTS実施数	延176人

(7) 子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成 [決算額 26,599千円]

子宮頸がんの主な原因となる「ヒトパピローマウイルス」の感染防止のため、ワクチン接種が推奨される中学1年生から中学3年生を対象に、接種費用の全額助成を行った。

助成者数 延1,345人

(8) 成人歯科健康診査の充実 [決算額 30,190千円]

30歳以上70歳以下の5歳ごとの区民を対象に実施している成人歯科健康診査に加えて、新たに72歳以上の偶数歳の区民を対象に高齢者歯科健康診査を実施した。

受診者数	成人歯科健康診査	1,930人
	高齢者歯科健康診査	1,107人

## \* 障害者福祉

### (1) 精神障害者グループホーム運営費助成 [決算額 65千円]

精神障害者の社会復帰を促進するため、一定期間生活の場を提供し日常生活における指導等を行うとともに、地域社会への参加、自立を促進することを目的とした精神障害者グループホームを運営する団体に対し、運営費の一部（更新料等の施設借上費）を助成した。

平成22年度は借上居室を増やし入居者定員を拡大した。

借上居室数	7室（6室から1室増）	※1室は交流室
入居者定員	6人（5人から1人増）	

### (2) 障害者就労支援センター運営支援 [決算額 21,989千円]

障害のある方の自立と社会参加を促進するため、就労と生活面の援助を一体的に提供し一般就労を支援するとともに、就労している障害者の交流と職場定着の一助の場として、就職者たまり場事業「2525（ニコニコ）ドットコム」を運営している障害者就労支援センターに対し、運営費の一部（人件費等）を助成した。

利用者就職実績	21人（前年度比5人増）
相談・支援実績	就労支援 延1,969件
	生活支援 延 991件
2525ドットコム	実施回数 12回
	参加者数 延196人

### (3) 障害者就労支援モザイク平板設置事業 [決算額 1,541千円]

障害のある方が建築廃材を活用して制作したモザイク平板を、区施設の壁面等に設置することにより、障害者の自立を支援するとともに、良質なまちづくりを促進した。

設置場所	浜町河岸緑道に2カ所
施工面積	11.68㎡

## \* 高齢者福祉

### (1) さわやか体操リーダーの育成 [決算額 341千円]

京橋・日本橋・月島の3地域で開催している「さわやか健康教室」に準じた内容の教室等を開催できるように、元気高齢者による体操リーダー育成講座を3回実施した。

さわやか体操リーダー候補 7人

### (2) 出前「はつらつ」体験講座の実施 [決算額 112千円]

介護予防サロン「はつらつ」および筋力アップ教室への参加促進と介護予防の普及・啓発を図るため、おとしより相談センター職員が地域に出向き、介護予防事業の一部を体験できる出前「はつらつ」体験講座を実施した。

実施回数 おとしより相談センターごとに年2回 計6回

参加者数 延120人

### (3) 認知症サポーター養成講座の実施 [決算額 302千円]

認知症についての正しい知識を学び認知症に対する理解を深め、適切な対応の仕方を身につけるため、区民と接することの多い職員を対象に講座を実施し、認知症サポーターの養成を図った。

実施回数 4回

参加者数 79人

### (4) 高年齢者合同就職面接会 [決算額 126千円]

おおむね55歳以上の高年齢者の就労機会を拡大するため、高年齢者と区内企業等との合同就職面接会を開催した。

開催日 平成23年3月2日

会場 区役所大会議室

参加企業 13社

参加者数 201人

(5) 無料職業紹介所「シルバーワーク中央」の運営支援 [決算額 12,615千円]

相談者数の増加に対応し、求人開拓を強化することを目的として、新たに求人開拓員を1人配置し高齢者の就業を支援した。また、履歴書の書き方や面接時の心構えなどを内容とする再就職支援セミナーを開催した。

新規求職者数	317人
就職者数	179人
求人開拓数	228件 (求人数 延372人)
再就職支援セミナー	実施回数 2回
	参加者数 延43人

(6) 高齢者雇用促進支援事業 [決算額 2,850千円]

働く意欲のある高齢者が、培った知識や経験を生かして、いつまでも働ける就労環境の整備を推進するため、高齢者雇用促進奨励金を交付した。

ア 高齢者雇用制度導入奨励金

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構が行う「中小企業定年引上げ等奨励金」の支給決定を受けた事業主に対して、奨励金を交付した。

交付額	1事業主あたり10万円
交付件数	27件

イ 高齢者雇用企業奨励金

65歳以上の区民をシルバーワーク中央またはハローワーク飯田橋の紹介により、1年以上継続して雇用した事業主に対して、奨励金を交付した。

交付額	週20時間以上30時間未満	5万円
	週30時間以上	10万円
交付件数	3件	

(7) 高齢者雇用推進事業所の顕彰 [決算額 224千円]

定年の延長または廃止、区内高齢者の1年以上継続雇用により、高齢者の就労機会を確保し、積極的な雇用を行っている区内の事業所を顕彰した。

顕彰事業所数	19事業所
--------	-------

(8) 元気高齢者人材バンク [決算額 5,584千円]

地域社会貢献活動に高齢者の豊かな経験や知識を生かせるよう、「元気高齢者人材バンク」として人材登録を行うとともに、ボランティア活動等のマッチング、イベントの実施、ホームページや情報誌による情報発信等を行い、高齢者の社会参加の促進を図った。

登録者数 64人  
活動件数 53件  
活動者数 延496人

(9) 敬老買物券等の贈呈 [決算額 96,687千円]

70歳以上の区民に対し長寿を祝し、年齢に応じて区内共通買物券等を贈呈した。

贈呈者数 13,774人

(10) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導 [決算額 52,410千円]

質の高い良好な高齢者向け住宅の供給を促進し高齢者の居住安定を図るため、民間事業者等による高齢者向け優良賃貸住宅の整備や家賃の減額に要する費用の一部を助成した。

平成22年度は、区内で2カ所目となる高齢者向け優良賃貸住宅が完成した。

パークビュー浜町

所在地 中央区日本橋浜町2丁目38番7号

戸数 13戸

入居開始日 平成23年3月28日

(11) 地域見守り事業支援 [決算額 819千円]

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、おとしより相談センターを核として地域全体でその生活を支えていく地域見守りネットワークの拡大を図るため、声かけや見守り活動を行う地域団体への支援を行った。

実施団体数 12団体

見守り対象者数 258人

(12) 高齢者あんしんコール事業 [決算額 9,325千円]

ひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯で要介護認定を受けていない方を対象とし、専用機器を設置して、オペレーターが24時間365日体制で相談・アドバイスを行うとともに、緊急時には、介護福祉士またはタクシー会社などの応急救護講習受講者による訪問サービス等を実施した。

設置者数 48人  
延利用者数 407人  
事業開始日 平成22年6月1日

(13) 高齢者食事サービス [決算額 16,777千円]

調理が困難な70歳以上（要支援・要介護の認定を受けた方は65歳以上）のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯および日中独居の高齢者に食事（昼食）を届けることにより栄養補給および安否確認を行った。

配食数 延51,776食

(14) 高齢者生活援助サービス [決算額 12,003千円]

自立・要支援・要介護と認定された高齢者に対して、生活援助および院内介助のため、民間事業者ヘルパーを派遣した。

生活援助派遣世帯数 277世帯（派遣回数 延2,195回）  
院内介助派遣世帯数 860世帯（派遣回数 延4,727回）

(15) 人形町認知症高齢者グループホームの整備 [決算額 354,624千円]

認知症高齢者が、身近な地域で安心して生活が送れるよう、認知症高齢者グループホームを整備するとともに、運営事業者に対して開設準備経費の一部助成を行った。

所在地 中央区日本橋人形町2丁目14番5号（複合施設棟7階～9階）  
定員 18人（9人×2ユニット）  
入居者 要支援2以上の区民で共同生活を営める認知症高齢者  
開設日 平成22年11月1日

(16) 小規模特別養護老人ホーム等複合施設の整備 [決算額 3,570千円]

日本橋地域に小規模特別養護老人ホーム等複合施設を整備するため、基本構想を策定した。

整備地 中央区日本橋小伝馬町5番1号（十思スクエア敷地内）

(17) 特別養護老人ホーム「マイホーム新川」における経管栄養利用者受入枠の拡大

[決算額 18,423千円]

入所待機者の中に経管栄養（胃に常時管を挿入し、流動性の栄養物を注入する等）などの医療処置を必要としている方が増加しているため、看護師を3人増員し経管栄養の利用者受入れ枠を12人から20人へ拡大した。

(18) 介護サービス事業者に対する看護師等雇用費助成

[決算額 22,779千円]

区内の民間特別養護老人ホームにおいて経管栄養等の医療処置を必要としている方の受入れを拡大するため、配置基準以上の看護師等を雇用する費用を助成した。

助成施設数 2施設

(19) 在宅療養支援

[決算額 1,566千円]

ア 在宅療養支援協議会

経管栄養などの医療処置を必要とする要介護高齢者を在宅で介護する家族の負担を軽減するとともに、可能な限り在宅での生活を継続できるよう、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、介護サービス事業者および行政から構成される在宅療養支援協議会において、支援のための体制づくりや方策を検討した。

開催回数 4回

実施内容

- ・在宅医療・介護に関する調査の実施
- ・「在宅療養支援の手引き」の作成
- ・在宅療養支援訪問看護指導モデル事業の実施

イ 在宅療養支援訪問看護指導事業

経管栄養などの医療処置を必要とする人が在宅でも療養できるよう、退院後に看護師を派遣して医療的ケアの指導を行った。

派遣回数 8回

利用者数 4人

(20) 巡回型ホームヘルプサービス

[決算額 69,347千円]

ア 24時間対応型

区が介護保険の訪問介護事業所として指定を受け、要介護高齢者等のいる家庭に対して24時間巡回型ホームヘルプサービスを実施した。

利用者数 延424人（高齢者337人、障害者87人）

イ 夜間対応型

区が介護保険の夜間対応型訪問介護事業所として指定を受け、要介護高齢者等のいる家庭を対象に夜間における定期巡回および緊急の要請に応じた相談・アドバイスをを行うとともに、必要に応じて介護福祉士等を利用者宅へ派遣した。

平成22年度からオペレーターの配置時間を拡大し、午後6時から翌午前7時までの対応から24時間対応とした。

利用者数 延398人

○ 健やかな子どもを育むために

\* 子育て・青少年健全育成

(1) 人形町保育園の整備 [決算額 16,210千円]

保育園等複合施設の整備を行い、日本橋保健センター等複合施設の仮園舎から人形町保育園を移転し、定員拡大を行った。

所在地 中央区日本橋人形町2丁目14番5号（複合施設棟1階～4階）

定員 105人（35人増）

移転日 平成22年10月12日 ※定員拡大は11月1日から

(2) 堀留町保育園の開設 [決算額 8,222千円]

日本橋保健センター等複合施設の人形町保育園仮園舎の移転に伴い、移転後の施設スペースを活用して指定管理者制度による公設民営の認可保育所を開設した。

所在地 中央区日本橋堀留町1丁目1番1号（日本橋保健センター等複合施設2階）

定員 72人

開設日 平成23年1月1日

(3) かちどき西保育園新園舎の取得 [決算額 1,309,288千円]

勝どき駅前再開発地区内「勝どきビュータワー」の3階部分を取得して、かちどき西保育園を移転し、定員拡大を行った。

所在地 中央区勝どき1丁目8番1号 勝どきビュータワー3階

延べ面積 1,470.7㎡

定員 120人（26人増）

移転日 平成22年12月20日 ※定員拡大は平成23年1月1日から

(4) 勝どき児童館新施設の取得 [決算額 1,713,015千円]

勝どき駅前再開発地区内「勝どきビュータワー」の3階の一部および4階部分を取得して、勝どき児童館を移転した。

所在地 中央区勝どき1丁目8番1号 勝どきビュータワー3階の一部、4階

延べ面積 2,096.6㎡（権利変換分を含む）

主な機能 工作室、遊戯室、スタジオ、多目的ホール、学童クラブ室等

移転日 平成22年12月6日

(5) 晴海児童館(仮称)等複合施設の整備 [決算額 974,391千円]

晴海2丁目に建設を予定している晴海児童館(仮称)等複合施設について、用地を取得するとともに、建設工事設計(実施設計)を行った。

本施設は児童館とともに、保育所機能と幼稚園機能をあわせもつ「認定こども園」を併設し、小学校就学前から高校生まで利用可能な複合児童施設としての整備を進める。

施設計画

所在地	晴海二丁目土地区画整理事業地区内
敷地面積	2,141.53㎡
構造規模	耐火構造 地下1階地上4階建て
建物面積	1,466.88㎡
延べ面積	5,397.23㎡
主な機能	児童館 工作展示室、図書室、スタジオ、学童クラブ室、体育室等 認定こども園 保育室、遊戯室、子育て支援スペース、屋外遊戯場等 定員：141人
その他	屋上緑化、太陽光発電、防災倉庫等
完成予定	平成24年10月

(6) 私立保育所に対する助成 [決算額 333,865千円]

私立認可保育所における保育水準の維持・向上を図るため、運営費等の補助を行っている。

平成22年度はこれに加え、新たに開設した私立認可保育所に対し開設準備経費等の補助を行うとともに、既存の私立認可保育所が行った改築工事に対し補助を行い、認可保育所の定員拡大を図った。

ア 私立認可保育所さわやか保育園・勝どき6丁目の分園誘致に伴い、備品整備費等の補助を行った。(開設準備経費については平成21年度に補助済み)

所在地	中央区勝どき4丁目13番8号
定員	3～5歳児 合計60人
開設日	平成22年5月1日

イ 私立認可保育所月島聖ルカ保育園の改築工事に対し、工事費の補助を行った。

所在地	中央区月島4丁目5番8号
定員	0～5歳児 合計101人(改築前より41人増・新たに0歳児保育を実施)
運営開始	平成23年2月28日(定員拡大は平成23年4月1日)

ウ 保育所待機児童の解消に向けた緊急対策として私立認可保育所を誘致し、開設準備経費の補助を行った。なお、開設後は運営費補助に加え、家賃補助を行った。

- ① 名称 まなびの森保育園勝どき  
所在地 中央区勝どき3丁目3番7号 KNリバーシティ2階  
運営事業者 株式会社こどもの森  
定員 0～5歳児 合計60人  
開設日 平成23年1月1日
- ② 名称 アスク勝どき保育園  
所在地 中央区勝どき4丁目8番14号  
運営事業者 株式会社日本保育サービス  
定員 0～5歳児 合計60人  
開設日 平成23年4月1日

(7) 認証保育所に対する助成 [決算額 767,055千円]

既存の13園に加え、新たな認証保育所を京橋地域に1園、月島地域に2園誘致し、開設準備経費・運営費・家賃の補助を行った。

ア グローバルキッズ新川園

- 所在地 中央区新川2丁目16番10号 アーバンステージ新川3階  
運営事業者 株式会社グローバルキッズ  
定員 0～5歳児 合計40人  
開設日 平成22年6月1日

イ 保育所まあむ月島駅前園

- 所在地 中央区月島1丁目3番14号 プラウドフラット月島1階  
運営事業者 株式会社WITH  
定員 0～5歳児 合計37人  
開設日 平成22年10月1日

ウ つきしまさくらさくほいくえん

- 所在地 中央区月島2丁目18番2号  
運営事業者 株式会社ブロッサム  
定員 0～5歳児 合計40人  
開設日 平成23年3月1日

(8) 認定こども園に対する助成 [決算額 70,911千円]

勝どき1丁目に開設した認定こども園に対し、開設準備経費・運営費・家賃の補助を行った。

名称 小学館アカデミー勝どきこども園  
所在地 中央区勝どき1丁目3番1号 アパートメンツタワー勝どき2階  
運営事業者 株式会社小学館集英社プロダクション  
定員 0～5歳児 合計111人（長時間保育：102人 短時間保育：9人）  
開設日 平成23年3月1日

(9) 認可外保育施設保育料の助成 [決算額 68,884千円]

認証保育所等の認可外保育施設に子どもを預けている保護者の経済的負担のさらなる軽減を図るため、保育料助成額の上限を引き上げた。また、第2子以降に対し助成額の加算を行った。

充実内容（助成上限額の引き上げ）

変更前		変更後		
定額	1万円	認可保育料との差額	4万円以上	2万円
			4万円未満	1万円

助成件数 保育料助成分 延 5,064件  
第2子以降加算分 延 518件

(10) 一時預かり保育の充実 [決算額 65,890千円]

子ども家庭支援センター「きらら中央」で実施している一時預かり保育において、定員とは別に新たに緊急保育（定員2人）を実施した。

また、日本橋区民センター1階に「日本橋分室」を開設し、一時預かり保育事業を実施した。

子ども家庭支援センター日本橋分室

所在地 中央区日本橋蛸殻町1丁目31番1号 日本橋区民センター1階  
延べ面積 40.5㎡  
定員 一時保育5人 緊急保育1人  
利用日 月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前9時～午後5時  
開設日 平成22年9月1日

(11) 病児・病後児保育の充実

[決算額 45,075千円]

京橋地域の実施施設がポピンズナーサリー京橋から財団法人聖路加国際病院に変更となることに伴い、定員を4人から6人に拡大するとともに新たに病児保育を開始した。

また、月島地域の小森小児科医院において実施している病後児保育の定員を4人から6人に拡大した。

施設一覧

区分	委託先	定員	備考
病児・病後児保育室	聖路加国際病院附属保育所	6人	平成22年6月開設
	聖路加ナーサリー		
病後児保育室	小森小児科医院	6人	平成22年6月定員拡大
	さわやか保育園・日本橋浜町	4人	

(12) 子ども医療費助成

[決算額 444,409千円]

就学前乳幼児および小・中学生の医療費（通院・入院）を助成した。

ア 医療証発行状況（平成23年3月31日現在）

- ・乳幼児医療証（対象：就学前乳幼児） 7,663人
- ・子ども医療証（対象：小・中学生） 6,338人

イ 助成件数

- ・乳幼児医療 145,480件
- ・子ども医療 86,834件

(13) 出産支援事業

[決算額 97,121千円]

ア 出産支援祝品

妊娠中の方に対し、通院等の経済的・身体的な負担を軽減するため、出産支援祝品（タクシー利用券3万円分）を贈呈した。

贈呈件数 1,652件

イ 新生児誕生祝品

新たな区民の誕生を祝福し、その健やかな成長を支援するため、新生児誕生祝品（区内共通買物券3万円分）を贈呈した。

贈呈件数 1,474件

(14) 子育て支援ガイドブックの発行 [決算額 2,297千円]

子育てに関する事業や相談窓口、区で利用できる子育て支援サービスを一冊のガイドブックにまとめ、発行した。

発行部数	既存版（増刷）	1,000部
	改訂版	7,000部

(15) 就学援助 [決算額 85,787千円]

経済的な理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者や特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、就学援助費等の支給を行った。

なお、平成22年度は、新たに標準服相当分を新入学児童・生徒学用品費として支給した。

新入学児童・生徒学用品費支給人数 221人

(16) 学校給食における食材料費補助 [決算額 13,627千円]

食材料費の高騰に対応し、栄養摂取基準や一定程度のメニューの確保など学校給食の質を維持するため、食材料費の補助を行った。

児童・生徒1人あたりの補助金額

・小学校低学年（第1・2学年）	月額	180円
中学年（第3・4学年）	月額	190円
高学年（第5・6学年）	月額	200円
・中学校全学年	月額	280円

(17) 子どもの居場所づくりの推進 [決算額 146,979千円]

子どもの健全育成を図るため、保護者の就労状況にかかわらず、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を、小学校8校で実施した。

開設校 8校（明石、京橋築地、有馬、佃島、月島第一、月島第二、月島第三、豊海小学校）

対象 当該小学校の全児童（登録制）

日時 月曜日～金曜日 放課後～午後5時

学校休業日（日曜日・祝日を除く） 午前9時～午後5時

特別な事情がある場合は午後6時まで

(18) 母子家庭自立支援の推進（「ひとり親パソコン教室の開催」含む） [決算額 3,856千円]

母子家庭の母の就業を支援するため、指定の教育訓練講座を修了した場合に、その経費の一部を助成した。

また、看護師等の資格取得のため、2年以上養成機関等で修業する場合に支給する高等技能訓練促進費について、支給額の増額および支給期間の拡大を行った。

さらに、ひとり親家庭の父または母を対象にパソコン教室を開催した。

ア 教育訓練給付金

講座受講に係る経費の40% (8千円以上で20万円を上限) を支給

支給者数 1人

イ 高等技能訓練促進費

充実内容

区 分		変 更 前	変 更 後
支給額 (月額)	住民税課税世帯	51,500円	70,500円
	住民税非課税世帯	103,000円	141,000円
支 給 期 間		修業期間のうち後半の1/2 相当期間 (上限18カ月)	修業全期間

対象資格 看護師（准看護師含む） 介護福祉士 保育士 理学療法士  
作業療法士 等

支給者数 3人

ウ パソコン教室

日数・時間 4日間（午後6時～8時30分）

内 容 インターネットの実践的な活用方法ほか

参加者数 11人

## ○ 思いやりとふれあいのあるまちのために

### \* 福祉のまちづくり

#### (1) 公衆便所への「だれでもトイレ」の整備およびベビーシート・チェアの設置

[決算額 12,670千円]

高齢者や障害のある方などが利用しやすいように、だれでもトイレを整備するとともに、育児中の方が安心して利用できるようにベビーシート・チェアを設置した。

##### ア 元八通八橋際公衆便所

所在地 中央区銀座8丁目11番8号先

完成 平成23年2月

##### イ 中央市場脇公衆便所

所在地 中央区築地5丁目2番1号

完成 平成23年2月

### \* 男女共同参画

#### (1) 「ブーケ21」女性相談の充実

[決算額 1,212千円]

女性センター「ブーケ21」女性相談の相談枠を拡大して実施した。また、子育て中の方にも安心して相談できるよう託児を行った。

実施日 第1・5水曜日、第4火曜日 午前10時～午後4時

第2火曜日、第3水曜日 午後3時30分～8時30分

相談枠 年間235枠(91枠増)

相談件数 172件

託児人数 21人

#### (2) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定

[決算額 2,998千円]

仕事と家庭の両立支援や男女ともに働きやすい職場の実現に向けた取組を実施する中小企業・事業所を認定・公表し、啓発を図るとともに、認定に向け取り組む企業に対しアドバイザーを派遣し助言や情報提供を行った。

推進企業認定数 3社

アドバイザー派遣 2社

##### セミナー・講演会の開催

セミナー 開催日 平成22年5月14日

参加者数 83人

講演会 開催日 平成22年10月28日

参加者数 92人

## うるおいのある安全で快適なまちをめざして

### ○ 住みやすい環境づくり

#### \* 住宅・住環境

##### (1) 「すまいるコミュニティ」構築に対する補助 [決算額 23,118千円]

適正なマンション管理とともに居住者同士や地域との良好なコミュニティの形成を推進するため、中央区都市整備公社ウェブサイト「すまいるコミュニティ」の開発費用を補助した。

運用主体 中央区都市整備公社

運用開始日 平成23年4月1日

#### \* 公園・緑地・水辺

##### (1) 民間施設の緑化推進 [決算額 13,190千円]

ヒートアイランド現象の緩和とみどり豊かな都市景観の創出を目的として、接道部、地上部および建物の屋上等を一定の割合で緑化するよう指導するとともに、緑化に要する経費の一部を助成した。

緑化助成 11件 (12,370千円) 樹木等保護育成助成 16件 (820千円)

##### (2) 公共施設の緑化推進 [決算額 45,280千円]

中央区緑の基本計画に基づき、区施設の壁面緑化工事を行った。

ア 久松町区民館・日本橋休日応急診療所複合施設 (決算額 5,054千円)

・緑化面積 約72㎡

イ 月島区民センター (決算額 22,482千円)

・緑化面積 約327㎡

ウ 子ども家庭支援センター等複合施設 (決算額 10,517千円)

・緑化面積 約148㎡

エ 日本橋小学校 (決算額 7,227千円)

・緑化面積 約102㎡

(3) 校庭・園庭の芝生化

[決算額 14,058千円]

ヒートアイランド対策および緑化推進に加え、環境学習効果の向上を目的として、校園庭の一部を芝生化した。

芝生化面積

京橋築地小学校	約210㎡
豊海小学校	約110㎡
月島幼稚園	約317㎡

(4) 水の都プロジェクトの推進

[決算額 141,068千円]

誰もが散策や休息等を楽しめるよう、安全性や利便性に配慮しつつ、質の高いデザインによる美しくうるおいのある水辺の空間を整備した。

ア 浜町河岸緑道の整備

整備箇所	中央区東日本橋1丁目10番先～日本橋浜町2丁目62番先		
施工延長	275m		
整備内容	下流部基盤整備 (撤去工、盛土工、擁壁工、階段工、転落防止柵設置工)		

イ 月島三丁目緑道の整備

整備箇所	中央区月島3丁目1番先		
施工延長	110m		
整備内容	インターロッキング・平板舗装工	638㎡	
	ベンチ工	5基	
	フェンス工	92.1m	
	高木植栽	コハウチワカエデ、ナツツバキ、アラカシ	3本
	中木植栽	ハナモモ、サザンカ、ハクモクレンほか	21本
	低木植栽	ツツジ、カンツバキ、レンギョウほか	368株
	地被植栽	シャガ、ヤブラン、フッキソウほか	5,607株

完 成 平成23年3月

ウ 隅田川テラス照明灯の整備

整備箇所	中央区日本橋箱崎町36番先～日本橋中洲13番先		
施工延長	500m		
照明整備	18基		
完 成	平成23年3月		

エ 日本橋川の護岸緑化整備

整備箇所	中央区日本橋箱崎町2番1号先 中央区日本橋兜町1番先		
施工延長	100m		
植 栽	高木植栽 シダレザクラ		1本
	中木植栽 カシワバアジサイ		28株
	低木植栽 サツキ		36株
	地被植栽 ヘデラ・ヘリックス、ビグノニアほか		975株
完 成	平成22年9月		

(5) 公園・児童遊園の改修

[決算額 74,445千円]

区民のレクリエーション、憩いの場を充実させるため、公園および児童遊園の改修を行った。

ア 箱崎公園

整備箇所	中央区日本橋箱崎町18番18号		
施工面積	2,436㎡		
植 栽	高木植栽 ハナミズキ、ダイダイ、クヌギ、コナラほか		9本
	地被植栽 カロライナジャスミン		214本
施 設	ベンチ、複合遊具、噴水、芝生広場ほか		
完 成	平成23年3月		

イ 勝どき四丁目児童遊園

整備箇所	中央区勝どき4丁目13番9号		
施工面積	496㎡		
植 栽	低木植栽 ツツジ、サツキ		65株
	地被植栽 セイヨウイワナンテンレインボー		28本
施 設	ベンチ、ブランコ、複合遊具ほか		
完 成	平成23年2月		

## \* 消費生活

### (1) 消費者相談 [決算額 14,733千円]

複雑化・多様化する相談に適切に対応するため、専門の消費生活相談員を1人増員し4人体制とし、消費者被害の拡大防止と救済に努めた。

また、身近な地域で気軽に相談できるよう、平成22年7月から消費生活相談員を日本橋・月島両特別出張所に毎月1回派遣して「出張相談」を実施しており、外出が困難な高齢者などの自宅等への「訪問相談」とあわせ、きめ細かく丁寧な対応に努めた。

相談件数 1,783件 (平成21年度 1,650件)

## ○ 地球にやさしい環境づくり

### \* 環境保全

### (1) 中央区エコタウン構想の策定 [決算額 14,931千円]

住宅系のモデル地区として「晴海地区」、業務系のモデル地区として「東京駅前地区」を対象に、区民・事業者等と区によるワークショップ形式により、地域の特性や課題を踏まえた地域の環境のあるべき姿を描き、具体的な環境行動を実践するため、エコタウン構想の策定に向けた中間のまとめを行った。

#### ワークショップの開催

##### 第1回ワークショップ

開催日	晴海地区	平成22年8月9日
	東京駅前地区	平成22年8月9日
議題	ワークショップの開催に当たって（オリエンテーション） 地区の環境について／こんな地区にしたい	

##### 第2回ワークショップ

開催日	晴海地区	平成22年9月10日
	東京駅前地区	平成22年9月7日
議題	地区の現状・課題のまとめ こんな地区にしたい／自分たちでできること	

##### 第3回ワークショップ

開催日	晴海地区	平成22年10月28日
	東京駅前地区	平成22年10月25日
議題	自分たちでできること 構想に盛り込みたいこと	

##### 第4回ワークショップ

開催日	晴海地区	平成22年12月14日
	東京駅前地区	平成22年12月20日
議題	中央区エコタウン構想ワークショップ 中間のまとめ	

(2) 中央区の森環境ふれあい村構想の策定 [決算額 3,140千円]

CO<sub>2</sub> 吸収源となる森林を荒廃から守り育てるため、地元NPO等への支援や間伐材等の活用を進めるとともに、檜原村の歴史・自然などを理解しながら交流を促進するため、「中央区の森環境ふれあい村構想」を策定した。

構想は「森林保全の支援方策」、「木材資源の利活用方策」、「地域の自然・文化などの体験と交流促進のための方策」の3つの方策からなり、区や檜原村、区内事業者、区民等で構成する「中央区の森環境ふれあい村推進協議会」により、構想の具現化を図っていく。

(3) 低公害車の普及・啓発 [決算額 1,735千円]

自動車公害対策および地球温暖化対策の一環として、低公害車の普及・促進を図るため、電気自動車の購入に対して費用の一部を助成するとともに、区役所本庁舎など3カ所の駐車場に設置した急速充電スタンドの利用料を平成21年度に引き続き無料とした。

また、庁有車として電気自動車を1台導入した。

購入費助成 2件 (780千円)

利用実績	区役所附属駐車場	充電回数	256回	充電時間	98時間33分20秒
	浜町公園地下駐車場	充電回数	210回	充電時間	100時間54分48秒
	月島駐車場	充電回数	138回	充電時間	43時間32分43秒

(4) ほっとプラザはるみの屋上庭園を利用したリサイクル教室の実施 [決算額 305千円]

温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」の利用を促進するとともに、愛着のある施設とするため、屋上庭園で栽培しているハーブなどを活用したリサイクル教室を実施した。

第1回 平成22年6月11日

ラベンダースティックづくり

参加者18人

第2回 平成22年12月16日

クリスマスリースづくり

参加者30人

(5) 宇佐美学園への太陽光発電システムの整備 [決算額 20,450千円]

自然エネルギーを活用し環境への負荷の低減を図るとともに、環境学習を推進するため、太陽光発電システムを整備した。

最大出力 20kw

(6) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器設置費助成 [決算額 18,774千円]

地球温暖化対策として、自然エネルギー・省エネルギー機器等の普及を促進するため、区内の住宅および事業所への機器設置等に対して費用の助成を行うとともに、中央区版二酸化炭素排出抑制システム認証取得者に対し、上乘せ助成を行った。

なお、助成対象に高反射率塗料の施工費を新たに加えた。

助成実績

・住宅用

太陽光発電システム	2件
高効率給湯器	99件
高反射率塗料	2件

・事業所用

高効率給湯器	18件
エアコン	11件
LED照明	26件
厨房機器	6件
その他の省エネルギー機器	2件

(7) 公衆浴場のクリーンエネルギー化補助 [決算額 2,992千円]

区内公衆浴場使用燃料の都市ガス等への切替を促進し、環境負荷を低減するとともに、災害時の安全確保と浴場経営の安定化を図るため、東京都の「公衆浴場クリーンエネルギー化推進事業補助(5/10補助)」を活用する整備を対象に、本人負担額を1/10として、補助対象経費の4/10(限度額160万円)の補助を行った。

補助実績 施設数 2施設

整備内容 重油から都市ガスへの切替

(8) 地域クリーンパトロールの展開 [決算額 28,815千円]

歩きたばこやポイ捨てを防止するため、主要交差点や駅周辺を中心とした区内全域において巡回指導を行った。また、歩きたばこが多い交差点を中心に、町会や事業所等と合同で毎月1回街頭キャンペーンを実施した。

巡回指導実施日 毎日(年末年始を除く) 午前6時～午後7時

巡回体制 2人1班の7班体制

街頭キャンペーン 勝どき駅前交差点ほか10カ所

※平成23年3月は東日本大震災の影響により中止

## \* 循環型社会

### (1) 清掃事業の普及・啓発

[決算額 8,650千円]

清掃事業の普及・啓発を図るため、清掃・リサイクル施設見学会や講演会等を実施した。  
また、普及・啓発用の冊子である「ごみと資源の分け方・出し方」について写真やイラストを増やし内容を充実した。

#### ア 清掃・リサイクル施設見学会

実施日 平成22年10月20日

参加者数 35人

見学場所 中央防波堤外側埋立処分場、新日本製鐵株式会社（君津製鉄所）  
株式会社ハイパーサイクルシステムズ

#### イ 親子清掃・リサイクル施設見学会

実施日 平成22年8月3日

参加者数 37人

見学場所 東芝科学館、三栄レギュレーター株式会社（東京工場）  
中央防波堤外側埋立処分場

#### ウ 環境学習

開催回数 幼稚園6回、小学校8回、児童館2回

開催内容 幼児・児童・保護者を対象にごみの積み込み体験、不用品再生の体験など

#### エ 清掃車への環境ポスター掲示

区所有の清掃車両に環境作品コンクールの優秀作品から作成したポスターを掲示

掲示台数 9台

#### オ 清掃・リサイクル講演会

実施日 平成22年9月15日

参加者数 84人

講演内容 「循環型社会をめざして～ごみを減らすために暮らしの中でできる3R～」

#### カ 普及・啓発用冊子「ごみと資源の分け方・出し方」の作成

作成部数 133,000部

### (2) リサイクル事業の普及・啓発

[決算額 2,318千円]

環境問題全般について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ「エコまつり」を開催した。エコまつりはフリーマーケットと同時開催するとともに、体験型ブースを含む18ブースを設けた。また、区内の小・中学校、保育園等から排出された生ごみから作られた堆肥を利用して栽培している野菜（キャベツ）等の販売ブースを新たに設置した。フリーマーケットについては、区内の公園で3回開催した。

ア エコまつり

平成22年6月6日 中央区保健所およびあかつき公園 参加者数 2,100人

イ フリーマーケット

平成22年6月6日 あかつき公園 77店舗

平成22年9月11日 浜町公園 59店舗

平成22年11月13日 佃公園 92店舗

(3) 土のリサイクルのモデル実施

[決算額 137千円]

家庭で不用になった園芸用土をリサイクルハウス「かざぐるま箱崎町」で回収し、再生処理を行った。再生土はリサイクルハウス「かざぐるま箱崎町」で無償配布した。

回収量 2,334kg

配布量 400kg (5kg×80袋)

(4) 資源再利用（リサイクル）の推進

[決算額 433,461千円]

ア 集団回収の支援

地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する助成を行った。

登録団体数 194団体

回収量 4,543,906kg

イ 拠点回収

区民が資源物をリサイクルしやすいように公共施設等に資源の回収箱を設置している。公共施設では牛乳パック、食器用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類の回収を行ったほか、小学校で廃食用油、布類、牛乳パック、食器用発泡スチロールトレイ、蛍光灯、乾電池の回収を行った。また、回収協力店でペットボトルの回収を行った。

回収量 186,054kg

ウ 集積所回収

集積所で紙類、びん、缶、ペットボトル、金属製のなべ・やかん・フライパンの回収を行った。また、新たにスプレー缶およびカセットコンロ用ガスボンベの回収を開始した。

回収量（プラスチック製容器包装を除く） 5,292,890kg

(5) プラスチック製容器包装の集積所回収 [決算額 77,452千円]

プラスチック製容器包装の回収を行うことにより、ごみの減量および資源の有効利用を図った。資源の再生化については、区独自ルートから指定法人ルートに変更し、リサイクルの安定化と経費の低減を図った。

回収量 478,830kg

(6) 資源持ち去り防止対策 [決算額 9,176千円]

区民が安心して資源物を排出できる環境を確保するため、資源持ち去り防止パトロールを実施した。

また、持ち去り禁止看板の集積所への設置や持ち去り防止の新聞回収袋を作成し、区役所、中央清掃事務所、日本橋・月島特別出張所、京橋・日本橋・月島図書館で配布した。

パトロール実施日 月曜日～土曜日（年末年始を除く）

新聞回収袋作成枚数 34,000枚

○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり

\* 道路・交通

(1) 駐輪場の整備 [決算額 4,075千円]

歩行者、緊急車両の通行の妨げや交通事故の原因ともなりうる放置自転車の解消を図るため、駐輪場を整備した。

ア 人形町二丁目地下駐輪場

整備箇所 中央区人形町2丁目12番1号

収容台数 地下機械式204台

面積 265㎡

開設日 平成22年12月1日

イ 清杉通り駐輪場

整備箇所 中央区日本橋横山町9番先～東日本橋2丁目1番先

収容台数 平面式71台

面積 120㎡

開設日 平成23年3月1日

(2) 街路環境（シンボルロード）の整備 [決算額 121,619千円]

広幅員の道路を単に交通の空間としてのみならず、安らぎやうらおいのある魅力的な空間として整備し、地域の生活環境の充実を図った。

整備路線	中央区東日本橋2丁目16番先～東日本橋3丁目12番先		
整備延長	240m	歩道整備（カラー舗装）	1,721㎡
街路照明整備（デザイン灯）	8基	高木植栽（ケヤキ）	14本
中木植栽（キンモクセイ）	75本	低木植栽（アジサイほか）	1,070株

(3) 人にやさしい歩行環境の整備 [決算額 88,799千円]

高齢者や障害のある方などを含むすべての人が、安全で快適に歩行できるように、歩行空間のバリアフリー整備を行うとともに街路照明や街路樹等を充実した。

整備路線

- ア 中央区日本橋本町4丁目4番先～日本橋本町4丁目6番先
- |               |            |      |      |
|---------------|------------|------|------|
| 整備内容          | 歩道拡幅および平坦化 | 整備延長 | 200m |
| 街路照明整備（デザイン灯） | 7基         |      |      |
- イ 中央区日本橋浜町3丁目21番先～日本橋浜町3丁目44番先
- |                |            |                 |      |
|----------------|------------|-----------------|------|
| 整備内容           | 歩道拡幅および平坦化 | 整備延長            | 300m |
| 街路照明整備（デザイン灯）  | 10基        | 高木植栽（サルスベリ、カツラ） | 14本  |
| 地被植栽（ビナンカズラほか） | 816株       |                 |      |
- ウ 中央区日本橋本町3丁目4番先～日本橋室町2丁目3番先
- |              |     |  |  |
|--------------|-----|--|--|
| 高木植栽（オカメザクラ） | 37本 |  |  |
|--------------|-----|--|--|

(4) 環境にやさしい道路の整備 [決算額 108,220千円]

道路交通による騒音の抑制や降雨時における視認性の改善、ヒートアイランド現象の緩和などに効果がある環境にやさしい道路整備を行った。また、路面温度表示板を設置し、遮熱性舗装効果の観測を行うとともに区民等へのPRを図った。

整備路線等

ア 低騒音舗装

- 中央区東日本橋2丁目16番先～東日本橋3丁目12番先  
整備延長 180m 車道舗装 3,068㎡
- 中央区日本橋浜町2丁目23番先～日本橋浜町2丁目31番先  
整備延長 220m 車道舗装 4,758㎡

イ 遮熱性舗装

- ・中央区日本橋人形町1丁目17番先～日本橋人形町2丁目6番先  
整備延長 140m 車道舗装 1,655㎡
- ・中央区東日本橋2丁目16番先～東日本橋3丁目12番先  
整備延長 170m 車道舗装 2,926㎡

ウ 透水性舗装

- ・中央区日本橋浜町3丁目37番先～日本橋浜町3丁目38番先  
整備延長 50m 車道舗装 167㎡
- ・中央区入船2丁目3番先～入船2丁目4番先  
整備延長 70m 車道舗装（雨水浸透ます併用） 200㎡

エ 路面温度表示板設置

- ・中央区日本橋浜町2丁目31番先  
設置台数 1基

(5) にぎわいのある道路の整備

[決算額 199,705千円]

都心にふさわしい、にぎわいを創出する道路空間の形成を図るなど、商業・観光振興に資する道路整備を行った。

整備路線

ア 中央区銀座1丁目9番先～銀座3丁目6番先

整備延長 360m 車道カラー舗装 2,659㎡  
街路照明整備（デザイン灯） 13基

イ 中央区銀座7丁目10番先～銀座8丁目9番先

整備延長 230m 車道カラー舗装 1,620㎡  
街路照明整備（デザイン灯） 5基

ウ 中央区日本橋馬喰町1丁目12番先～日本橋横山町10番先

整備延長 150m 車道カラー舗装 745㎡

(6) 電線共同溝の整備

[決算額 202,810千円]

災害に強い都市基盤の整備と、安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上のために、電線共同溝を整備し電線類の地中化を行った。

ア 整備路線

- ・中央区日本橋本町4丁目4番先～日本橋本町4丁目6番先

整備内容 電線共同溝本体整備

整備延長 400m

移設補償企業 東京電力株式会社、東京ガス株式会社、東京都水道局・下水道局

イ 設計等

- ・中央区日本橋本町4丁目1番先～日本橋本町4丁目5番先

実施内容 電線共同溝引込・連系管路設計

- ・中央区日本橋本石町4丁目・日本橋室町4丁目地区

実施内容 電線共同溝詳細設計および試掘調査

- ・中央区築地6丁目16番先～築地7丁目18番先

実施内容 電線共同溝予備設計

- ・中央区日本橋本町2丁目3番先～日本橋本町2丁目5番先

実施内容 電線共同溝予備設計

- ・中央区八丁堀3丁目17番先～日本橋茅場町1丁目9番先

実施内容 電線共同溝試掘調査

(7) 橋りょうの新設・架替

[決算額 35,512千円]

学識経験者、地域住民および関係行政機関で構成する検討会において、朝潮運河周辺における良好な歩行環境の実現に向けた検討を行った。また、西仲橋について企業者による添架管の切り廻し工事を行ったほか、老朽化している新島橋について架替のための設計を新たに行った。

ア 朝潮運河周辺における良好な歩行環境の実現に向けた検討

対象地区 朝潮運河周辺

検討内容 良好な歩行環境を実現するための方策、手段等

イ 西仲橋の架替

所在地 月島3丁目31番先～勝どき1丁目2番先

実施内容 添架管切り廻し工事（企業者施工）

ウ 新島橋の架替

所在地 勝どき4丁目13番先～勝どき5丁目2番先

実施内容 詳細設計

(8) コミュニティバス「江戸バス」の運行

[決算額 95,374千円]

地域内・地域間を結ぶ公共交通を補完し、区内交通不便エリアの解消および公共施設の利便性向上を図るため、コミュニティバス「江戸バス」を運行している。また、運行状況等の実態調査の結果や関係機関との協議を踏まえて、平成23年1月8日に北循環のルート変更およびダイヤ改正を実施した。

運賃	大人・子ども各100円 未就学児は無料
運行ルート	南循環ルート、北循環ルート
運行時間	南循環ルート 午前7時（日曜・祝日は午前8時）～午後6時40分 北循環ルート 午前6時58分（日曜・祝日は午前7時58分） ～午後6時38分
	※いずれも中央区役所発車時刻
停留所	59カ所
乗車実績	延422,294人（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

## \* 防災・危機管理

### (1) 防災拠点運営委員会訓練 [決算額 10,692千円]

地域の防災拠点運営委員会が実施する防災訓練を支援した。

実施回数	各防災拠点（20委員会）で合計21回実施
参加者数	3,292人
訓練内容	初期消火・放水訓練、資器材操作訓練、AED・応急救護訓練、 起震車による地震体験など

### (2) 防災拠点運営委員会への支援 [決算額 11,081千円]

災害時の円滑な防災拠点の運営や、平常時の防災対策を推進するため、「防災拠点運営委員会」（21委員会）の活動を支援した。また、平成22年度から新たに「防災拠点運営委員会のお知らせ」を作成し、町会・自治会を通じて各戸に配布した。

運営支援

- ・委員会開催 66回
- ・防災拠点活動マニュアルの更新  
5拠点（中央小学校、明石小学校、阪本小学校、月島第一小学校、京華スクエア）
- ・「防災拠点運営委員会のお知らせ」の作成・配布
- ・防災拠点運営委員会連絡会議の開催

### (3) 広報掲示板の避難場所標識に外国語表記の追加 [決算額 670千円]

区内各所に設置している広報掲示板の広域避難場所の表示について、外国人向け英語表記を追加した。

英語表記掲示板数	362基
----------	------

### (4) 高層住宅防災対策 [決算額 7,250千円]

#### ア 高層住宅防災対策

高層住宅の設備や居住者の状況などを調査し、大地震によりエレベーターやライフラインが停止した際に活用する震災時活動マニュアルの作成を支援した。

また、これまで作成したマニュアルを基に、震災時の標準的な活動や事前対策の事例などを記載した「震災時活動マニュアル策定の手引き」を作成した。

マニュアルの作成支援	3件
「震災時活動マニュアル策定の手引き」作成部数	5,000部

## イ マンション管理組合等防災対策支援

区内マンションの管理組合等が、防災対策を進めていくうえでの問題点や解決策を学べる防災講習会を開催した。また、マンションの登録制度を導入し、希望するマンションに防災に関する情報を提供した。

講習会 2回開催  
参加者 延68人(33棟)  
情報提供数 17件

## (5) 住宅・建築物耐震改修等支援事業 [決算額 47,087千円]

昭和56年の建築基準法改正以前の建築物の耐震性向上を促進するため、木造住宅および業務商業建築物等の耐震改修費用の一部を助成した。また、災害時における物資輸送路等を確保するため、緊急輸送道路沿道等の建築物についても耐震改修費用の一部を助成した。

木造住宅耐震診断・補強計画	50件 (7,500千円)
木造住宅耐震補強	14件 (27,487千円)
木造住宅簡易補強	2件 (2,000千円)
業務商業建築物等耐震診断	4件 (1,600千円)
緊急輸送道路沿道等建築物耐震診断	6件 (5,350千円)

## (6) 公衆浴場の耐震化等補助 [決算額 1,000千円]

区内公衆浴場の耐震化を促進し、浴場利用者および周辺住民の安全性の確保を図るため、東京都の「公衆浴場耐震化促進事業補助(1/2補助)」を活用する整備を対象に、補助対象経費の1/2(限度額500万円)の補助を行った。

補助実績 施設数 1施設  
整備内容 煙突の撤去

## (7) 橋りょうの健全度調査 [決算額 14,333千円]

橋りょうの健康診断として、老朽度等について調査を行った。

### ア 調査橋りょう

亀井橋、三吉橋、築地橋、南高橋、豊海橋、西河岸橋、柳橋

### イ 調査内容

現地踏査、外観目視調査、打音調査、交通量調査

(8) 橋りょうの耐震補強整備 [決算額 49,502千円]

橋りょうの健全度調査の結果により、阪神大震災後の新基準に基づき橋りょうの耐震補強整備を行った。

新亀島橋

所在地 中央区新川2丁目1番先～日本橋茅場町2丁目17番先

整備内容 落橋防止工事

橋長 30.5m

幅員 15.0m（車道：9.0m、歩道：3.0m×2）

(9) 銀座地区における安全対策支援 [決算額 20,097千円]

銀座地区のより一層安全なまちづくりを目指し、東京都の「繁華街等における体感治安の改善事業」を活用しながら地域とともに防犯対策を推進し、防犯力の向上を図った。

地域が主体となって設立した「銀座地区防犯対策推進協議会」が進める防犯設備等の設置を支援するとともに、地区内の防犯に向けた環境改善事業を実施した。

ア 防犯設備補助事業

協議会が設置する防犯カメラなどの防犯設備整備に係る経費の一部を補助した。

防犯カメラ 15台

車両進入防止装置 12基

イ 地域防犯環境改善事業

防犯パトロール用具の支給、駐輪場案内サイン・駐輪禁止サインの設置、防犯ボランティア講習会の開催など防犯環境改善事業を実施した。

(10) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対策助成 [決算額 493千円]

個人の住まいに防犯アドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。また、安全・安心おまかせ出前相談を受けた区民が、住居の玄関・窓などに防犯対策を行った場合に、その費用の1/2（上限額1万円）を助成した。

平成22年度は防災拠点4カ所の訓練会場にブースを設け、安全・安心おまかせ出前相談を実施した。

防犯アドバイザー派遣件数 5件

防犯対策助成件数 4件

(11) 共同住宅等生活安全(防犯)アドバイザーの派遣と防犯設備整備費助成

[決算額 1,728千円]

マンション管理組合、町会・自治会等に防犯アドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。また、防犯アドバイザー派遣を受けたマンション管理組合等が、防犯設備を整備した場合に、その費用の1/2(上限額50万円)を助成した。

防犯アドバイザー派遣件数 7件

防犯設備整備費助成件数 7件

(12) 安全・安心メールの充実

[決算額 4,725千円]

区民等の安全・安心に寄与するため、区内の犯罪情報や振り込め詐欺、消費者相談内容等に気象・地震などの情報を新たに追加し、登録した方の携帯電話やパソコンにメールで配信した。

登録者数 1,816人(平成23年3月31日現在)

配信件数 323件

(13) 全国瞬時警報システムの整備

[決算額 7,621千円]

緊急地震速報、有事関連情報などの緊急情報を人工衛星を用いて国から区へ瞬時に伝達する全国瞬時警報システム(J-ALERT)を防災危機管理センターに設置した。

## \* 地域整備

### (1) 市街地再開発事業助成 [決算額 2,869,782千円]

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用および住宅・住環境の改善を図り、良好な定住型住宅の供給を促進するため、市街地再開発事業者に対し、事業費の一部を助成した。

助成地区および金額

・晴海三丁目西地区	128,200千円
・勝どき駅前地区	1,615,782千円
・新川二丁目地区	476,400千円
・月島一丁目3,4,5番地区	377,200千円
・湊二丁目東地区	115,000千円
・勝どき五丁目地区	157,200千円

### (2) 都市再生土地区画整理事業助成 [決算額 10,000千円]

公共施設の整備改善と宅地の利用の増進を図り、合理的かつ健全な土地利用を促進することにより、防災性の向上、土地の有効高度利用等を推進するため、事業施行予定者に事業費の一部を助成した。

助成地区および金額

・湊二丁目東地区	10,000千円
----------	----------

### (3) 日本橋再生推進協議会の運営と名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋川再生に向けたまちづくり調査 [決算額 7,891千円]

日本橋・東京駅前地区における都市計画課題を地元を受け入れられる形で実現するとともに、地域と情報を共有しながら、個別プロジェクト相互が連携し、日本橋地域の個性を生かしたまちづくりを進めるため、引き続き調査・検討を行った。

また、日本橋上空の首都高速道路の撤去実現に向けた日本橋川河岸街区のオープンスペース化について、モデル地区におけるまちづくりの検討を継続的に行い、国との検討を踏まえながら東京駅前地区との連携を前提とした都市計画の考え方を整理し、その検証を進めている。

日本橋再生推進協議会

開催回数 1回

## にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして

### ○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり

#### \* 商店街振興

#### (1) 特色ある地域商店街づくり [決算額 16,018千円]

地域環境に適合した個性と魅力を持つ商店街づくりを促進するため、商店街等が自ら行う施設整備事業・販売促進事業等に対し、その費用の一部を補助した。

##### 補助対象事業

・無線スピーカー設置事業	1商店街
・AED設置事業	2商店街
・フラッグ装飾事業	1商店街
・商店街加入促進パンフレット作成事業	1商店街連合会
・防犯カメラ設置事業	1商店街

#### (2) 商店街の集客力向上支援 [決算額 2,975千円]

「商店街ビジョン」を作成し、その実現に向けた取り組みを着実に実行するなど、地域の活性化のために積極的に取り組む商店会が行う集客力向上事業に対して支援を行った。

##### 補助対象事業

・集客促進（多国語版ホームページ作成）事業	1商店街
-----------------------	------

#### (3) 観光商業まつり [決算額 31,420千円]

都心における代表的観光商業地区である本区の特性を活かし、区内全商業者が一体となって観光客の誘致を促進するとともに、商業意欲の高揚を図るための各種イベントを実施した。

実施期間 平成22年10月1日～11月5日

#### (4) 共通買物券の発行 [決算額 579,984千円]

景気対策の一環として、区内の消費を一層刺激して地域経済の活性化を図るため、共通買物券を発行し、一冊1万1千円分（5百円券22枚つづり）を1万円で販売した。

販売日 平成22年6月20日

販売場所 区役所、日本橋区民センター、月島区民センター、晴海区民館

発行総額 5億5千万円

\* 産業振興

(1) 商工業融資

[決算額 2,552,216千円]

区内中小企業の経営の安定と近代化、合理化を促進し、地域商工業のより一層の振興を図るため、次のとおり各種資金の融資あっ旋、保証料補助および利子補給を実施した。

また、都制度融資（経営緊急）を利用した小規模企業者に対して、信用保証料の補助（限度額30万円）を実施した。

なお、平成16年度から、商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する経営改善資金融資（マル経融資）の利子支払額の一部を補助した。

ア 貸付件数および貸付額

制 度 名	件 数	金額（千円）
運転資金融資	168	2,357,000
設備資金融資	21	370,700
小規模企業資金融資	21	165,340
年末特別資金融資	4	11,000
小口資金融資	115	444,870
創造支援資金融資	54	382,312
店舗・工場等小規模再開発資金融資	0	0
災害復旧資金融資	1	10,000
経営改善支援資金融資	270	3,085,294
団体資金融資	0	0
小規模企業特例緊急運転資金融資	18	47,100
区融資一本化資金融資	5	45,557
小口緊急景気対策特別資金融資	110	513,450
緊急景気対策特別資金融資	1,654	13,760,039
計	2,441	21,192,662

イ 信用保証料補助

区制度融資分	2,115件	392,096千円
都制度融資分（経営緊急）	335件	61,677千円
ウ 利子補給	29,344件	575,170千円
エ 経営改善資金融資利子補助	599件	12,622千円

(2) 問屋街産業支援施設「ＹＹパーク」の整備および管理運営 [決算額 108,096千円]

日本橋問屋街地域における産業の活性化を支援するため、32台収容のタワー型立体駐車場等を備えた産業支援施設を整備・運営した。

開設日 平成22年9月1日

駐車台数 延6,557台

(3) 日本橋問屋街活性化事業支援 [決算額 5,003千円]

これまで問屋街活性化委員会が行ってきた活性化事業の実績、成果等を踏まえ、情報発信に関する事業、広報事業、文化服装学院との産学連携事業の質的充実などの活性化事業に対し支援を行い、日本橋問屋街のさらなる再生と活性化を図った。

主な事業内容

- ・新聞製作、メディアとの連携強化
- ・オープンカレッジ、街角ディスプレイの実施
- ・上海の展示会への出展
- ・ホームページのイベント案内・売出案内等各種情報の随時アップデートや問屋街説明文の中国語版掲載

(4) 若年者合同就職面接会 [決算額 274千円]

若年者と求人を希望する企業との合同就職面接会を開催し、若年者の就労の機会を確保するとともに、中小企業の人材確保の場を提供した。

実施日 平成22年12月6日

面接者数 延137人

求人数 53人

参加企業 15社

採用者数 7人

(5) 職業相談・就職ミニ面接会 [決算額 412千円]

ハローワーク飯田橋の協力により、職業相談および就職ミニ面接会を開催し、区民等の就労支援と雇用の安定化を図った。

実施日 毎月第2・3火曜日 午後1時～4時  
面接者数 延301人  
参加企業 28社  
職業相談件数 67件  
インターネット求人検索利用件数 43件  
採用者数 22人

(6) 産業文化展 [決算額 38,793千円]

本区における産業活動について、その歴史的歩み、現状、未来への展望などを広く紹介し、区内産業の振興、発展に寄与するとともに青少年に対する「地域産業教育」に役立てるためのイベントを実施した。(隔年実施)

実施期間 平成22年10月31日～11月3日  
実施場所 晴海トリトンスクエア  
来場者数 延55,000人

\* 観光

(1) 中央区観光検定 [決算額 8,026千円]

中央区の魅力ある観光資源を再認識し、さらに「中央区ファン」を増やすため、区内の観光スポットや歴史、文化等を題材にして実施した。

合格者には合格証を発行したほか、得点上位者を翌年度の観光協会特派員として新たに任命した。

実施日 平成23年2月6日  
受検料 一般 3,150円  
大学生・専門学生・団体(5人以上) 2,100円  
高校生以下 1,050円  
受検者数 221人  
合格者数 80人  
特派員任命者数 19人  
テキストの販売 393冊 (1冊2,100円)

(2) アンテナショップスタンプラリー [決算額 1,400千円]

新たなまちのにぎわいを創出するため、区内に多数あるアンテナショップと連携を図り、スタンプラリーを実施した。

実施期間 平成22年10月7日～21日

参加店舗 17店舗

応募者数 延2,318人

(3) 東京湾大華火祭 [決算額 246,169千円]

区民にうるおいとやすらぎの場を提供することにより、ふるさと意識を高めるとともに、観光商業の発展に資するため、花火大会を実施した。

実施日 平成22年8月14日

打上場所 晴海埠頭沖海上および晴海ふ頭公園

観覧会場 晴海運動場ほか

観客数 約70万人

(4) 観光写真コンクール [決算額 1,630千円]

中央区の豊富な観光資源を題材とした写真を広く一般から募集し、入賞作品を区内百貨店に展示、また、写真集を作成して配布することにより中央区の魅力を紹介した。

本選 平成22年11月19日

入賞 44点

(内訳)

推薦 (中央区観光協会会長賞) 1点

推薦 (中央区長賞) 1点

特選 3点

入選 13点

中央区「おはこ十八景・夜景八選」 13点

中央区観光協会賞 7点

「まるごとミュージアム」賞 3点

ジュニア賞 3点

(5) 船着場の整備

[決算額 107,415千円]

快適でうるおいのある水辺のにぎわい空間を創出するとともに、災害時における帰宅困難者および救援物資等の円滑な水上輸送など防災機能の向上を図るため、船着場を整備した。

日本橋船着場

所在地	中央区日本橋1丁目9番先（日本橋「滝の広場」）
形式	浮さん橋（PHCポンツーン）
延長	20m
幅員	6m
完成	平成23年3月

## ○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

### \* 学校教育

#### (1) 学習力サポートテスト [決算額 18,060千円]

各学校での個に応じた指導の充実および教員の指導力の向上と、児童・生徒の学習への動機付けになるよう、本区独自に小学校第4学年から中学校第3学年までを対象に学習力サポートテストを実施した。

また、前回の結果と比較ができる個人別の学習診断カルテを作成・配布し、児童・生徒の学習意欲と学力の向上を図った。

実施日 平成22年5月11日

#### (2) 小学校の学力向上対策 [決算額 60,128千円]

基礎的学力の積み重ねが特に重視される算数について、非常勤講師を配置して、習熟度別指導・個別指導を実施した。

また、より一層の理科授業の充実および活性化を図るため、実験や観察等における教員の支援を行う理科支援員を配置した。

- ・非常勤講師（算数）の配置 小学校16校 各1人配置
- ・理科支援員の配置 小学校16校の第5・6学年の全学級（1学級あたり150時間）

#### (3) 中学校の学力向上対策 [決算額 73,739千円]

国語・数学・英語の3教科における習熟度別指導・個別指導等の充実を図るため、中学校の全学級で少人数指導を実施するとともに、各校の実情に応じて少人数指導教科の拡大（理科・社会）を行った。

また、夏季休業期間中に教育センター等を利用して習熟度別集中講座を実施し、生徒の学力に応じたきめ細かな学習支援を行った。

- ・非常勤講師の配置 24人（国語・数学・英語・理科・社会 6人×4校）
- ・夏季集中講座（コース別）
  - 参加生徒数 170人（第1学年73人、第2学年41人、第3学年56人）
  - 参加率 約13.3%（参加生徒数／在籍生徒数）

(4) 英語教育の推進 [決算額 74,034千円]

国際化が進展する中、小学校の英語活動および中学校の英語指導について、幼少期から英語に親しみ、英語学習への関心や意欲を持たせるため、小・中学校全校にALT（外国語指導補助講師）を配置し、コミュニケーション能力の向上、中学校英語への効果的な接続、国際理解教育の視点に立った授業内容の展開を図った。

- ・小学校 第1・2学年 各校年間11時間（月1時間）  
第3～6学年 各校年間35時間（週1時間）
- ・中学校 各校年間190日

(5) 土曜学校公開 [決算額 一千円]

土曜日を活用した学校公開を推進し、保護者や地域に対して児童・生徒の学習状況や学校の教育活動などをより理解してもらうとともに、新学習指導要領に対応した授業時間数の確保とあわせて、確かな学力の定着を図った。

- ・小学校 各校年5回
- ・中学校 各校年2回

(6) 健康教育の推進 [決算額 50,873千円]

ア 小学校の体育指導

小学校全校に体育指導補助員を配置し、児童の関心・意欲や技能に合った実技指導の補助など体育指導を充実するとともに、1校1運動（マイスクールスポーツ）への継続的な取組を図った。

イ 中学校の体育指導

中学生の体力向上を図るため、新学習指導要領で新たに加わる「武道・ダンス」や運動種目ごとの専門的スキルや指導能力を有する種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図った。

ウ 小・中学校の食育指導

小・中学校全校において、大学講師やプロの料理人等「食」の専門家による授業を実施した。

また、親子クッキングスクールで学校給食の献立を紹介し、バランスの良い食事や食を通じた生活習慣などに関する情報提供を行い、食生活の向上に寄与した。

エ 中学校の部活動指導

部活動を安定的に実施するため、専門的な知識・技術および指導能力を有する指導員を外部から募り、部活動の活性化を図った。

(7) ICT環境の推進 [決算額 8,551千円]

フロンティアスクール（城東、常盤、阪本小学校）を除く小学校および宇佐美学園に、大型テレビを電子黒板として活用できる電子情報ボードを各1台整備した。

また、フロンティアスクールでの電子情報ボードやWeb会議システムによる授業の支援や教材開発、教員研修などを行っているICTコーディネーターの配置をフロンティアスクール以外の小・中学校にも拡大し、ICT活用授業の推進を図るとともに、学校ホームページの更新等の支援を行った。

(8) 学校間ネットワークの整備・運用 [決算額 195,840千円]

小学校、中学校、幼稚園、教育センターおよび教育委員会をネットワーク化し、教員の事務的な負担の軽減や情報セキュリティの強化を行った。

また、小学校において、パソコン教室の児童用パソコン台数を一人一台に充実するなどICT機器を有効活用するための基盤整備を行った。

パソコン台数の充実

小学校 2人1台→1人1台体制 中学校 1人1台体制

(9) 学校図書館システムの整備・運用 [決算額 24,108千円]

児童・生徒の読書活動のさらなる推進のため、学校間や学校と区立図書館との間で図書検索や貸出ができるように、平成21・22年度の2カ年で小・中学校全校に学校図書館システムを整備し、区立図書館のシステムとネットワーク化した。

平成22年度整備校 小学校 5校（明石、有馬、久松、佃島、豊海小学校）

中学校 3校（銀座、晴海、日本橋中学校）

(10) 「いじめのない学校づくり」の推進 [決算額 一千円]

いじめゼロをめざし、学校における教育相談体制を強化するほか、中央区版中学校生徒会長サミットを通じた生徒自らのいじめ問題への取組、生徒会・保護者・学校の三者共同によるスローガンづくりなどにより、いじめのない学校づくりを推進した。

(11) 特別支援教育への対応

[決算額 127,754千円]

ア 特別支援教育専門員の配置

特別支援教育専門員を配置し、適切な就学相談を実施するとともに、就学後においても継続的にアプローチし、個々の障害に応じた教育的支援を行った。

なお、平成22年度は、配置人員を1人から2人に増員した。

イ 特別支援教育アドバイザーの派遣

小・中学校等に医師や臨床心理士等を派遣し、心身に障害のある児童・生徒等についての専門的な指導・助言等を教員に対して行った。

平成22年度は幼稚園への派遣回数拡大するとともに、新たに宇佐美学園、特別支援学級および通級指導学級への派遣を行った。

派遣回数 小・中学校 各校3回 幼稚園 各校1回→2回

宇佐美学園、特別支援学級、通級指導学級 各3回（新規）

ウ 特別支援学級の運営

心身に障害のある児童・生徒に対し、特別支援学級を設け、特別支援教育補佐員を配置するなど、一人ひとりの能力に応じた適切な教育を行った。

また、平成23年5月に通級指導学級（情緒障害等）を開設するため、有馬小学校の内部改修工事を行った。

エ 特別支援教育コーディネーター補佐員の試行配置

教員による特別支援教育コーディネーターを補佐する特別支援教育コーディネーター補佐員を配置し、スクールカウンセラー、学習指導補助員等との連携体制づくりのコーディネーターや、子どもの能力や可能性を伸長する手立ての検討の支援を行った。

オ 通級指導学級に通う児童・生徒への支援

通級指導学級に通う児童・生徒が通常学級で学習する際、その児童・生徒が在籍する学級に対し、きめ細かい支援を行い、学習指導を円滑にすることを目的として、学習指導補助員を配置した。

カ 教育的支援を要する学級への学習指導補助員の配置拡大

教育的支援を必要とする児童・生徒が在籍する学級に対し、きめ細かい支援を行い、学習指導を円滑にすることを目的として、学習指導補助員を配置した。

キ 小・中学校における介助員の配置

重い障害のある児童・生徒が在籍する学級に対し、介助員を配置した。

(12) スクールバスの運行

[決算額 8,270千円]

特認校制度が平成21年度から実施されたことに伴い、就学人口の多い月島地域から比較的離れている小規模校である城東小学校・常盤小学校・阪本小学校への交通手段として、登下校時にスクールバスを運行した。

運行便数	登校時1便 下校時2便
乗降場所	月島地域で指定する4カ所および各校の正門付近
運行日数	199日
利用者数	28人

(13) 小学校・幼稚園の改築

[決算額 1,242,525千円]

中央小学校・中央幼稚園および明石小学校・明石幼稚園の改築については、各改築推進協議会での協議を進めながら、校舎解体工事、埋蔵文化財調査、校舎の建物記録保存を実施した。

また、平成24年度から改築する明正小学校・明正幼稚園については、学校、PTA、町会関係者などを委員とする明正小学校改築準備協議会を平成23年3月に発足し、新たな校舎の構想づくりを開始した。

ア 中央小学校・中央幼稚園

建設地	中央区湊1丁目4番
建築概要	鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階 延べ面積 12,198.64㎡ ・小学校 1階～5階および地下1階の一部 11,129.43㎡ ・幼稚園 1階の一部 1,069.21㎡
完成予定	平成24年7月

イ 明石小学校・明石幼稚園

建設地	中央区明石町1番
建築概要	鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階 延べ面積 9,949.53㎡ ・小学校 1階～5階および地下1階の一部 8,606.01㎡ ・幼稚園 1・2階および地下1階の一部 1,343.52㎡
完成予定	平成24年7月

ウ 明正小学校改築準備協議会

開催日	平成23年3月18日
内容	改築コンセプト(案)等について

○ 文化の香る交流のまちづくり

\* コミュニティ

(1) 地域の盆おどりに対する助成 [決算額 13,900千円]

町会・自治会等が地域で実施する盆おどり大会に対し、区が経費の一部を助成している。

対 象 区内の町会・自治会、社会教育団体、社会体育団体等

助 成 額 所要経費の1/2（ただし、次の表の限度額の範囲内）

区分	助成対象団体	助成限度額
1	世帯数1,000世帯未満の町会・自治会、社会教育団体、社会体育団体、その他	200,000円
2	世帯数1,000世帯以上2,999世帯以下の町会・自治会	300,000円
3	世帯数3,000世帯以上の町会・自治会	400,000円

※4,000世帯以上は450,000円とし、以降1,000世帯増えるごとに50,000円増額する。

交付件数 66件

(2) 浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営 [決算額 41,007千円]

葬儀はもとより、集会、会議など、区民の交流やコミュニティの場にも利用できる施設として開設した。

所在地 中央区日本橋浜町2丁目59番48号

構造 鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階

延べ面積 1,925.8㎡

開設日 平成22年4月1日

(3) 人形町区民館の整備 [決算額 4,020千円]

集会室のほか談話室を置き、講習会、サークルの集いなどの場として利用できる施設として開設した。

所在地 中央区日本橋人形町2丁目14番5号（複合施設棟5・6階）

構造 鉄筋コンクリート造 地上9階 地下1階

延べ面積 579.74㎡

定 員 154人  
部 屋 数 洋室4、和室2、談話室  
開 設 日 平成22年10月6日

(4) 町会等活性化支援情報誌の発行 [決算額 1,203千円]

町会・自治会活動の活性化および町会未加入者の加入促進を図り、良好なコミュニティを形成することを目的として町会等活性化支援情報誌を年2回発行した。

なお、発行回数を年1回から年2回に拡充した。

対 象 町会・自治会会員および未加入者  
掲載内容 町会活動紹介(3地域)、加入促進PR  
発行回数 年2回(平成22年度から)  
判 型 等 A4判 各号4頁  
発行部数 各号67,000部  
配布方法 町会・自治会を通じて各家庭および事業所に配布したほか、区内各施設でも配布

(5) 大江戸まつり盆おどり大会 [決算額 39,918千円]

区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、江戸のまちにゆかりの深い盆踊りを中心とした「中央区大江戸まつり盆おどり大会」を実施した。

実 施 日 平成22年8月27日・28日  
実施場所 浜町公園  
実施内容 盆おどり大会、大江戸縁日コーナー、友好・交流都市コーナー等  
参加者数 延80,000人

(6) 雪まつり [決算額 10,360千円]

自然の雪と接する機会の少ない区民が、積極的に参加できる冬のイベントとして、本区の友好都市である山形県東根市から雪の提供(10tトラック20台分)を受けて実施した。

実 施 日 平成23年2月5日・6日  
実施場所 あかつき公園  
実施内容 雪遊びコーナー、ミニ動物園、味コーナー、炊き出しコーナー等  
来場者数 延20,000人

(7) 青年リーダーの育成 [決算額 231千円]

高校生・大学生・社会人等それぞれの年代において、将来にわたり活動できる場と機会の拡大を図るため、少年リーダー養成研修会OBOG会、新成人のつどい実行委員会OBOG会を設立した。

各OBOG会は、それぞれの修了者等により構成し、定例会や研修会等での活動の推進を協議しながら、地域活動への参加や区事業への協力等、独自のボランティア活動を行った。

・少年リーダー養成研修会OBOG会

対象者 少年リーダー養成研修会修了者、高校生スタッフ経験者等

会員数 15人

定例会等 12回開催（準備会7回、定例会1回、研修会4回）

地域活動等 7回、延20人参加

・新成人のつどい実行委員会OBOG会

対象者 新成人のつどい実行委員会実行委員経験者等

会員数 25人

定例会等 5回開催（準備会3回、定例会2回）

ボランティア活動等 1回、13人参加

\* 文化振興

(1) 中央区まるごとミュージアム [決算額 32,335千円]

文化・芸術の秋の一日に、民間の文化事業を含む区内のさまざまな文化的な魅力を区民等に体験してもらうための文化イベントを中央区文化・国際交流振興協会との共催で実施した。

中央区というまち全体が、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺など数々の魅力にあふれるミュージアムであることから、区民等が無料で区内を巡回するバスや船、さらには江戸バスに乗り回遊しながら中央区の文化的な魅力を大いに楽しみ享受できる一日とした。

開催日 平成22年10月31日

場所 中央区全域

参加者数 延54,200人（江戸バス・借上バスの乗車人数 4,683人、

船の乗船人数 2,825人）

(2) 文化振興プロデュースチーム [決算額 647千円]

中央区文化振興プランの提言の下で区民（事業所、NPO等を含む）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、中央区文化・国際交流振興協会に文化の専門家からなるプロデュースチームを設置し、本区で行うべき文化事業の具体的な企画・立案に向け検討を行った。

平成22年度は、新規に実施する文化事業助成制度について検討するとともに中央区まるごとミュージアムに参加する文化事業者を中心とした連絡会議にオブザーバーとして出席し、中央区全体の文化事業の推進について協議を進めた。

構 成 員 6人

会議開催数 定例会 7回、まるごとミュージアム文化事業者連絡会議 3回

(3) 文化事業助成 [決算額 414千円]

本区にふさわしい文化の創造や区民および民間事業者等による文化活動の活性化を図るため、文化振興基金を活用した文化事業助成制度を創設し、平成23年度に実施される文化事業について選考を行った。

助成対象事業

- ・区内で実施され区民等に広く公開される、原則として新たに行う文化芸術活動などの事業
- ・文化ボランティアや文化NPOなど本区の文化を担う人材を育成するための事業
- ・区内の文化的魅力を内外に情報発信していく事業

助成予定額 1事業200万円を上限

選定事業数 4件（応募事業数36件）

(4) 国民読書年および京橋図書館100周年記念事業 [決算額 812千円]

平成22年は国の定めた「国民読書年」であるとともに、京橋図書館が開設100周年を迎えることを記念して展示会と講演会を開催した。

ア 展示会「京橋図書館100年のあゆみ展」

開催日 平成22年11月19日～30日

会 場 京橋図書館鑑賞室

イ 講演会「図書館の将来像を語る 京橋図書館開設100周年を迎えて」

開催日 平成22年11月20日

会 場 区役所大会議室

(5) 図書館地域資料のデジタル化 [決算額 11,507千円]

京橋図書館が収集・保存してきた中央区に関する江戸・東京の歴史や文化を伝える錦絵、絵葉書、写真などのイメージ情報12,150点を平成20・21年度でデジタル化し、ホームページおよび図書館内の専用端末で広く公開している。

なお、平成22年度は、写真・絵葉書・画集から4,000点をさらにデジタル化した。

(6) 郷土天文館「タイムドーム明石」収蔵品のデータベース構築 [決算額 63,918千円]

郷土天文館の収蔵品を平成20年度から22年度にかけて約23,000点（歴史・民俗資料約11,000点、考古資料約12,000点）をデータベース化した。

このデータベース化に伴い、これまで特別展等でしか人の目に触れることがなかった収蔵品を平成23年度からホームページで広く一般に公開している。

\* 国際・地域間交流

(1) 外国人区民支援施策の推進 [決算額 1,746千円]

外国人区民とのコミュニケーションが円滑にとれるよう文化・生涯学習課に英語による通訳・翻訳窓口を週3日程度設置し、外国人区民に対する通訳・相談業務および庁内文書の翻訳を行った。

開設日数 120日

\* 平和

(1) 平和モニュメントの設置等 [決算額 3,544千円]

「平和」への理解を一層深めるため「月島第二児童公園」に「平和を願い核兵器のない世界の実現」をテーマとして、平和モニュメントの制作に着手した。

設置場所 月島第二児童公園内「平和の広場」

壁画制作面数 8基16面

(2) 映像による戦災体験等の証言データ収集 [決算額 1,538千円]

戦後65年以上が経過し、戦災体験を次世代へと語り継いでいくことが困難になる中で、戦災体験者の証言を映像に記録し、平和であることの大切さ・尊さを認識するとともに次世代へと伝えていくための資料とする。

戦災体験者の映像作成 10人分

(3) 平和展 [決算額 2,781千円]

中央区の空襲被害、戦中・戦後の市民生活や子どもの様子など、当時を物語る写真や戦災資料を公開展示することにより、区民に平和の大切さ・尊さを訴え、平和を見つめ直すきっかけづくりとして、平和特別展を開催した。なお、今回は、郷土天文館との同時開催とし、「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル」等の展示を行った。

また、次代を担う児童・生徒を対象とした、小・中学校巡回平和展を実施した。

ア 平和特別展

【区役所・日本橋区民センター・月島区民センター】

期 間 平成23年2月25日～3月11日（区役所は閉庁日を除く）

来場者数 約20,000人

【郷土天文館】

期 間 平成23年2月25日～3月27日（毎週月曜日、祝日の翌日は休館）

来場者数 約1,300人

イ 小・中学校巡回平和展

対 象 校 小学校16校（中央小学校は改築工事のため明正小学校との同時開催）  
中学校4校 計20校

期 間 平成22年9月30日～平成23年2月9日

内 容 写真パネルの展示、平和絵本・平和クイズの展示・閲覧、平和関連映像DVDの貸出

## その他の主要な課題への対応と区政改革の推進

### ○ 新たな課題等への対応

#### (1) 地上デジタルテレビ放送への移行対策 [決算額 21,165千円]

現在、本区の約97%の世帯がケーブルテレビ網を利用してテレビ放送を視聴している。このため区民が円滑に地上デジタルテレビ放送に移行できるよう、ケーブルテレビ事業者2社と協定を締結し、「地デジ相談ダイヤル」を設置した。

また、区民が余裕を持って地上デジタル放送に移行できるよう、ケーブルテレビ事業者に対し「デジアナ変換機」の整備に係る経費の助成を行い、平成27年3月末までアナログテレビのままでも視聴ができる環境を整備した。

#### (2) 「区のおしらせ 中央」の発行回数の増 [決算額 37,480千円]

区民への情報伝達の迅速化を図るため、平成22年4月から「区のおしらせ中央」の発行回数を月2回から月3回とした。

発行日	毎月1日、11日、21日
発行回数	年36回
発行部数	年2,621,700部
配布方法	1日号 町会・自治会配布 11日号 新聞折込 21日号 新聞折込

#### (3) 区議会ホームページの開設 [決算額 6,229千円]

区議会の最新情報の速やかな掲載や、より検索しやすい「会議録検索システム」の導入などのため、区ホームページから独立した区議会ホームページを新たに開設した。

開設日	平成23年1月25日
URL	<a href="http://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/">http://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/</a>

(4) 「労働スクエア東京」跡地の活用検討 [決算額 16,947千円]

「労働スクエア東京」跡地に、移転予定である京橋図書館を中心とした文化・生涯学習の拠点施設を整備するため、地質調査、測量調査、土地活用検討等の基礎的な調査を行うとともに、隣接する地下鉄に与える整備工事の影響について鉄道会社と協議を行った。あわせて、土地所有者である東京都と下水暗きよの取り扱いに関する技術的な協議を進めるとともに、土地取得に向けた調整を行っている。

敷地面積 6,177.68㎡のうち約4,000㎡

(5) 社会貢献活動団体との協働の推進（協働ステーション中央の管理運営）

[決算額 16,894千円]

区内における社会貢献活動の輪を広げ、協働の普及促進を図るための拠点として、「協働ステーション中央」を開設した。

協働ステーションでは、社会貢献活動団体の活動の場を提供するとともに、各種相談や講座、区の協働事業に関するコーディネート等を行った。

登録団体数 70団体（平成22年度末現在）

相談件数 205件

(6) 結婚活動支援 [決算額 388千円]

銀座プロッサムの指定管理者であるアターブル松屋株式会社が、区民サービスと施設利用率の向上を図るため、自主事業として開催している結婚活動支援事業に対し、区のおしらせやチラシで区民等への周知をするなど事業の支援を行った。

(7) 特定不妊治療医療費助成 [決算額 4,156千円]

特定不妊治療（体外受精および顕微授精）の保険適用外医療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。

助成金額 1年度あたり10万円（最大通算5年度まで）

助成件数 43件

## ○ 緊急な課題への対応

### (1) 緊急雇用創出事業 [決算額 34,568千円]

雇用情勢の悪化を受け、さらなる雇用の創出を図るため、都の補助金を活用して緊急雇用創出事業を実施した。

#### ① 路上弁当販売監視指導 (決算額 10,383千円)

行商による路上でのルールを守らない弁当販売に対し、警察署等関係機関と連携を図りながら、食品取扱状況および衛生基準等について監視指導を行うとともに、新たに路上弁当販売監視員を配置した。また、行商ルール啓発用立て看板を設置し周知徹底を図った。

新規雇用者数	14人（従事者26人）
巡回場所	20カ所（京橋地区 7カ所、日本橋地区 11カ所、月島地区 2カ所）
巡回体制	週 3日（2人×3班×延152日）
注意指導	7,337件
看板設置	124カ所

#### ② 駅周辺等放置自転車の整理 (決算額 7,149千円)

放置自転車整理業務について、従来から実施していた区内5鉄道駅周辺道路のほか、12鉄道駅周辺道路および1公園を追加し、平成21年度に引き続き規模を拡大して実施した。

新規雇用者数	16人（従事者16人）
拡大対象箇所	京橋駅、築地駅、新富町駅、宝町駅、築地市場駅、小伝馬町駅、茅場町駅、東日本橋駅、馬喰横山駅、浜町駅、月島駅、勝どき駅、浜町公園
整理台数	396,769台

#### ③ 街路樹点検調査 (決算額 1,859千円)

街路樹の維持管理業務の効率的運営と道路環境の安全性向上を図るため、平成21年度に引き続き健全度調査を実施した。

新規雇用者数	4人（従事者5人）
街路樹調査	6,533本

#### ④ 学校図書館データベース化 (決算額 15,177千円)

学校図書館を利用しやすくし、児童・生徒に学習や読書への関心・意欲を高めてもらうため、平成21年度に引き続き学校図書館図書データベース化を行った。

新規雇用者数	24人（従事者27人）
--------	-------------

## ○ 区施設の改修

### (1) 月島区民センター

[決算額 745,112千円]

月島区民センターは、昭和63年竣工から21年が経過したため、劣化改修と環境対応やバリアフリーなど時代のニーズに合わせた改修を行った。

#### ・改修期間

平成21年7月～平成22年9月

#### ・改修施設

1階：月島特別出張所、月島道路事務所、おとしより相談センター、会議室等

2階：月島児童館

3階：月島図書館

4階～5階：月島社会教育会館

B1階：区営月島駐車場

その他：ロビー、外構など共用部分

#### ・改修内容

劣化改修（建築設備、機械設備、給排水衛生設備、電気設備）

適法化改修（エレベーター遮煙シャッター設置、シャッター危害防止設備設置）

環境対応改修（壁面緑化、太陽光発電設備設置、高効率熱源機器の採用等）

バリアフリー改修（だれでもトイレ設置、トイレ洋式化、誘導ブロック等設置）

機能向上改修（自家用発電機設備能力向上、おとしより相談センター拡充等）

[注] 各事業の決算額は、「決算書」の数値と一致します。ただし、内数値については、事業内の事項すべてを掲載していないので、その合計は決算額と一致しないものがあります。

平成22年度  
主要な施策の成果説明書

刊行物登録番号  
23-047

編集・発行	中央区企画部企画財政課 中央区築地一丁目1番1号 電話 (03) 3543 - 0211
印刷	タナカ印刷株式会社 中央区京橋三丁目12番4号 電話 (03) 3567 - 2551